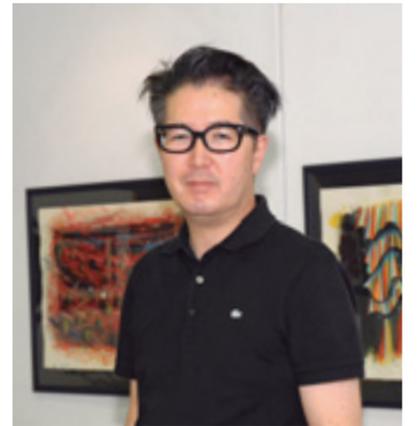


いきいき
まえばし人



文化の街の仕掛け人
小見 純一さん・50歳
敷島町

街と共にある映画館を

10月、旧ウォーク館にオープン予定のまちなか映画館「シネママえばし」。その支配人を務める。

「昔、街は映画館と共にありました。映画を見る前に喫茶店で待ち合わせをして、見終わったら食事をしながら語り合う。そうして発展してきました。ところがその時代に生きてきた人たちが、現在ではまちなかですら楽しむことができなくなっていることに危機感を感じています。『まずはその人たちに礼を尽くさなければ』という気持ちで、映画館を始めるところから始めました。」

この映画館は、主に旧作映画を上映する名画座。子どもからお年寄りまで、あらゆる世代の人に足を運んでもらいたいと語る。

映画を見て笑ったり泣いたりして、場所を共有して感動できること。皆さんの知らない素晴らしい作品がまだまだたくさんありますよ」

現在、文化団体・前橋芸術週間の代表と絵本屋フリッツ・アートセンターのオーナーでもある。街に活気を取り戻したいという思いがエネルギーの源だ。

「今の若い人には偶然の出会いを大切にしたい。それが絵本屋を開いている理由。人と物、人と人との出会いや交流は掛け替えのないものだと思えます。わたしくらいの世代は、若い人とお年寄りの懸け橋になれる。頑張らなくては」

そう語る目はキラキラと輝く。これからも素晴らしい作品と感動を紹介してもらいたい。

わたしたちの
学校
ニュース
芳賀中

芳賀中奉仕団

わたしたちが通う芳賀中は、前橋の中学校奉仕団の元祖。社会や地域とボランティア活動を通して積極的に交流しています。5月には、芳賀地区ののびゆくこどものつどいに参加。150人の生徒が小学生の面倒を見たり、イベントの運営や地区ごとに出店される模擬店を手伝ったりしました。また、奉仕団ではチョコバナナの模擬店を出店。とても人気があり、完売することができました。地域の人からは「ありがたい」、「頼もしい」、



おでん販売の手伝い



上手にできるかな

生徒会長 田中 一樹さん

「とてもよく手伝ってくれて助かった」などの言葉を掛けてもらって、あらためてボランティア活動の意義を感じています。これまで先輩が築いてきた、歴史と伝統あるこのボランティア活動。芳賀中では、この活動を通して奉仕の心を養い、地域の人々との交流を深めています。11月には、奉仕団として芳賀地区文化祭にも参加。力を発揮したいと思っています。



笑顔あふれる支所目指して

9月7日、新築した宮城支所で開所式を行いました。明るい室内は高齢者などが利用しやすいよう配慮され、併設の図書室は親子が一緒に楽しめる造りに。皆さんに親しまれるよう、温かみある支所を目指します。

大切な命を救うために



8月27日、古市町で集団救急事故合同演習を実施しました。消防隊員や医師、看護師など114人が参加。電車と乗用車が衝突した事故を想定した訓練を行い、もしものときに備えました。

みんなが参加し成果を発表

8月29日・30日の2日間、生涯学習フェスティバル2009を総合福祉会館で開催。恒例の市民ステージや各町の広報紙の展示や昔遊び、スタンプラリーなどが行われ、子どもからお年寄りまでの来場者が楽しい時間を過ごしました。



グー・ズ・アツプ



白樺の中をさっそうと

8月30日、第28回あかぎ大沼・白樺マラソン大会を赤城山大沼湖畔で開催。ことしの箱根駅伝で優勝した東洋大学陸上競技部から市内出身の選手らを招待し実施。雄大な赤城山を舞台に、全国各地から参加した2,655人のランナーが心地よい汗を流しました。